

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和 8年 3月31日(5年間)
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/ 日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:5 点、105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、85%未 満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場 合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると 判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。		-			
			②利用人数		平均値比(注) 105%以上:5 点、105%未満～95%:4点、 95%未満～85%:3点、85%未 満:2～0点						平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場 合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると 判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	・令和5年度に来館していた小学6年生が中学生に上がり、遊びに来てくれる子が多かつ たため、令和6年度の中高生の来館が大幅に増加した。 【令和3年度】来館者総数 7,359名 幼児 1,379名 小学生 3,652名 中高生 728名 大人 1,600名 【令和4年度】来館者総数 8,530名 幼児 1,518名 小学生 4,738名 中高生 531名 大人 1,743名 【令和5年度】来館者総数 9,856名 幼児 1,611名 小学生 5,864名 中高生 602名 大人 1,779名 【令和6年度】来館者総数 10,262名 幼児 1,442名 小学生 5,025名 中高生 1,965名 大人 1,830名 (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R6:10262÷R1:9912≒104%
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に 忠実:11～9点、仕様書の一部不 実施(軽微):8～7点、仕様書 の一部不実施(中程度):6～ 3点、それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(年間計46回 356名参加) ・児童を対象とした事業(年間計58回 709名参加) ・地域・多世代間交流事業(年間計8回 823名参加) ・中高生事業(年間計8回 36名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(年間計26回 12名参加) ※ 別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・乳幼児クラブは、参加者が減少し、1歳児のクラブの参加人数が少なかったため、1～2 歳児の合同クラブにして行った。エアートランポリンなど、家では出来ない活動が人気だつ た。アンケートでは、参加者の方から満足の評価をいただくことが出来た。 ・小学生クラブの一輪車クラブでは、保護者の方や地域の方などに見ていただける機会 をできるだけ設けたいと思い、児童館まつりやふれあい文化祭などで演技披露を行った。 沢山の方に観覧いていただき自信に繋がった。 また、チャレンジキッズでは、製作や簡単クッキングを行った。簡単クッキングはとても好 評で、自分たちで材料をはかり作るなど、たくさんチャレンジしている姿が見られた。 ・おでかけ児童館、20区夏祭り、児童館まつり、ふれあい文化祭で地域の方や、普段児童 館に遊びに来ない子たちともかかわりを持つことが出来た。 ・中高生事業では、ボランティアをおたよりに掲載し、陶都中学校に依頼し募集を行った。 例年よりたくさんの子がボランティアとして参加となった。 また、中高生が地域と関わりを持つことが出来き、良い経験になっている様子だった。	13点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15 ～12点、内容・事業数等が例年 通り:11～9点、内容・事業数等 が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣 る:6～3点、内容・事業数等が 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(年間計 36回 516名参加) ・児童を対象とした事業(年間計38回 356名参加) ・地域・多世代間交流事業(年間計59回 247名参加) ・中高生事業(年間計2回 11名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(年間計5回 24名参加) ※ 別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・乳幼児の季節行事では、家では出来ない製作やフォトスポットを中心に力を入れて行っ た。また、来館者の要望により飲食を伴う行事を行ったが、とても人 気があり 高評価を得た。 ・児童対象事業では、竹水鉄砲作りやディキャンプなど夏休みの行事が増え、たくさんの 人に参加してもらうことが出来た。 ・地域多世代では、地元の伝統に触れることのできる宮太鼓CLUBなどを行った。参加人 数が少しずつ増え、活発的に活動することが出来た。 ・子育て支援事業は、新たに4363協賛事業として、相談できる場所を増やせると良いと考 え、「おやこたいむ」を実施した。	13点				
		(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項 目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不 備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、一部不備あ り:4点、不備あり2点	・定期清掃・日常清掃を行い、適正に環境整備を行った。 ・棚、倉庫整理を行い、不要と思われるものは廃棄した。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。	10点				
			②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。館庭整備の一部は委託により実 施。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。					
			③保安・警備			・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実 施。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。					
			④小規模修繕			①窓枠シリコン 8,800円 ②ガラス修繕 16,500円 ①～⑤については10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修 繕を行い、利用者にとってより良い環境づくりに心がけた。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応した。					
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・業者による安全点検を実施 ・毎月1回職員による安全点検で危険箇所を把握し、改善できる箇所は速やかに対応して いる。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録に基づき管理している。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき管理している。	10点	
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙、裏紙を使用している。 ・市役所や他の児童館等の連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えている。 ・冷房、暖房は適正な温度に設定、節電するなど環境に配慮している。 ・市配布のゴーヤの他、きゅうりを子ども達と植え、生育を観察できるグリーンカーテンにしている。 ・工作、ゲーム制作は牛乳パック、ペットボトルなどの廃材を利用するなど、資源ごみのリサイクルを実施している。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。		
			③バリアフリー			・玄関、幼児室入り口に段差プレートを常時設置。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。		
			④備品管理			・備品台帳に沿って適正に管理している。	適正(普通) 2点	・備品台帳に沿って適正に管理した。		
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規定」を制定し、適正に管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施した。		
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・事故なし		事故なし・対応に不備なし 0点
			3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	△	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入 10,068,650 ÷ 11,677,018 =86% ※収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するものではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)	△	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上 : 15～12点、 適正 (普通) : 11～9点、 普通未満～物足りない : 8～0点	・ご意見ボックスを設置し、随時意見を受け入れた。また、来館された方との会話の中や、クラブでの会話から母親たちのニーズを聞き取り、出来る範囲で実践した。 幼児親子…乳幼児クラブ前後期終了時にアンケートを行った。アンケート結果を基にエアートランポリンなど好評だったものを取り入れた。飲食を伴う行事を行いたいという希望が多かったため、ハロウィン、クリスマスで取り入れた。 ・児童…バスケットボールやサッカーボールを増やしてほしいとの声が多かったため購入した。	期待以上 13点	・乳幼児クラブではアンケートを実施し、好評だったものを積極的に取り入れるなど、来館者のニーズを出来る範囲で実施した。 ・小学生～高校生の来館が多かったため、館庭で遊べるようバスケットボールやサッカーボールを増やすなど、遊ぶものを充実させた。	13点	
			②苦情対応	5	期待以上 : 5点、 適正 (普通) : 4点、 不備あり : 3～1点 ※苦情なしは5点とする	・苦情なし	期待以上・苦情なし 5点	・社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対処している。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・館庭の隅から隅まで、いつでも子どもたちが遊べるよう、定期的に館庭の手入れを行った。 ・危険箇所を職員で共有し、細かい所に対策を施した。(例:蜂の駆除、蜂に注意を促す看板の設置、セアカゴケグモの注意を促す看板の設置、イノシシの足跡の把握、図書室、事務室の床板のささくれ修繕 など) ・共栄駐在所の職員と話す機会を数回持ち、地域の安全対策の現状について情報交換をした。 ・講師を招いて実技研修を行った(AED研修)。	期待以上 13点	・利用しやすく、清潔で印象の良い環境作りができた。 ・地域の高齢者を元気づけようと、ふくろうのキーホルダーを作り、メッセージをつけて80歳以上の方全員に区長を通してお渡ししたことにより、希薄化していた地域とのつながりを取り戻す取り組みができた。 ・まちづくり市民会議、民生児童委員と情報交換し、地域事業への参加や主任児童委員に行事などの支援をお願いできた。 ・講師を招いて行った職員研修は学ぶ良い機会となった。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(重微):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施した。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示等への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以上:減点なし	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施した。	0点		
合計					100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点
										全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・業務内容を工夫し、地域とも積極的に交流している。 ・ニーズを把握しながら良好な環境を作り、維持継続している。